



first call

produced by **MEDIPLAT**

衛生講話資料

# 感染症Update2026

ハンタウイルス・エムポックス・麻しん・COVID-19・百日咳

**※2026年5月時点の情報となります※**

## 1. 感染症ニュースの読み方

## 2. 2026年話題の感染症

1. ハンタウイルス
2. エムポックス
3. 麻疹（はしか）
4. COVID-19（新型コロナウイルス）
5. 百日咳

感染症は  
正しく「**知り**」  
正しく「**対策**」  
しましょう



## 感染症情報を整理する「4つの視点」

ニュースで話題の感染症が、必ずしも職場で重要とは限らない

①  
国内で  
増えているか

②  
人から人へ  
広がりやすいか

③  
予防・治療は  
あるか

④  
職場で  
何をすべきか

4つの視点で見ると・・・

ハンタ	エムポックス	麻疹	コロナ	百日咳
重症だが 国内流行リスク は現時点で低い	濃厚接触が中心 日本も患者あり 拡大は限定的	国内増加傾向 感染力も強い 改めて対策を	低水準でも 流行を繰り返す 基本をしっかり	長引く咳 乳児に注意 昨年大流行

厚生労働省/JIHS 各感染症情報より抽出（2026年5月確認）

### ①ハンタウイルス：現状整理

#### ■ これまでの経過

- ・ 2026年5月にクルーズ船内で**集団感染**が発生  
経路：アルゼンチン→スペイン
- ・ 南大西洋上を航行中にWHOに報告  
「乗客が乗船中/下船後に死亡」  
→下船後の人もおり、**世界中で追跡調査**
- ・ 原因がハンタウイルス肺症候群(HPS)  
→HPSは**重症化・死亡**のリスクが高い
- ・ **日本人**も1名乗船（現在症状なし）  
→現在英国でWHO推奨に基づき経過観察中

#### ■ 現時点でのとらえ方

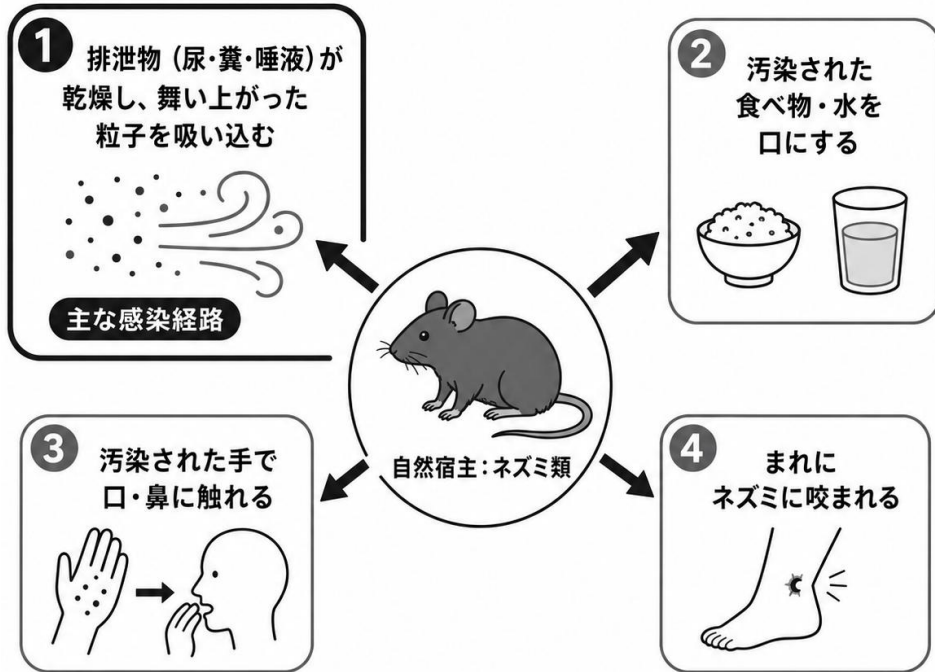
- ・ 日本国内での患者発生の**報告はない**  
（ハンタウイルス肺症候群に関して）
- ・ **宿主**となるげっ歯類の存在が重要  
→日本では**宿主が生息していない**
- ・ 国内でヒト→ヒト感染拡大する可能性は低い  
→職場での流行を心配するのではなく、  
**渡航歴や曝露歴(ネズミ等)**の確認が大事
- ・ **海外渡航者・清掃作業員や倉庫管理者**は  
情報をアップデートしておくが良い

**コロナウイルスとは感染の広がり方が異なる  
「怖い感染症」だが、現時点で一般職場で広がる可能性は低い**

FORTH「[国外航行中のクルーズ船におけるハンタウイルス感染症事例](#)」／厚生労働省報道発表（2026年5月）

### ① ハンタウイルス：感染症の性質

#### ■ 感染経路



⚠️ 主な感染源：感染したネズミ類の排泄物・分泌物

i ※ 一般にヒトからヒトへの感染はまれ(ウイルス種による)

#### ① ハンタウイルス肺症候群 (HPS)

地域 北米・南米

潜伏期 1~5週 死亡率 40~50%

症状 発熱や咳、筋肉痛+嘔吐や下痢も  
→急速に症状が進行し、呼吸不全

#### ② 腎症候性出血熱 (HFRS)

地域 極東アジア・北欧・東欧  
※日本は1970年代以降なし

潜伏期 10~20日 死亡率 3~15%

症状 突然の発熱・頭痛・脱力・腹痛等  
→出血症状や腎機能障害

※HPSとHFRSを起こすウイルスは株が異なる

FORTH, 「ハンタウイルス感染症」より作成

### ①ハンタウイルス：対策

#### ■ 基本的な対策

- ・現時点で有効な予防接種は開発されていない
- ・げっ歯類（ネズミ等）との接触は気をつける
- ・食品保管はフタつきで（家庭含め）

#### ■ 特異的な対策

- ・海外渡航者  
流行地域の場合、現地感染状況に留意  
体調不良時は渡航歴を医療機関に申告  
（※ハンタウイルスに限らず重要）
- ・倉庫・清掃作業  
ネズミの多い環境は粉じん吸入を避ける  
古い空き家・納屋の掃除も注意

#### ■ ヒトーヒト感染について

- ・南アメリカの固有種である「アンデス株」でヒトーヒト感染を起こす
- ・アルゼンチンなどでは**集団感染の報告**あり  
→今回のクルーズ船が“世界初”ではない
- ・**濃厚接触・持続接触**でないと広まりにくい  
→COVID-19とは性質が異なる
- ・クルーズ船は**閉鎖環境**なので広まったか  
→但し現時点の感染疑いを含めても数名
- ・潜伏期間が非常に長い  
→知らない間に移動で広めるリスク
- ・ヒト感染より**げっ歯類の感染の方が対策としては重要**

FORTH, 「[ハンタウイルス感染症](#)」, 厚生労働省「[ハンタウイルス肺症候群](#)」より作成

### ②エムポックス（旧名称：サル痘）

#### ■ これまでの経過

- ・以前から**アフリカ**で感染・死亡を繰り返す
- ・2024年8月に、WHOがアフリカの流行を「**国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態**」と宣言（2025年9月に終了）
- ・同時期に**欧米**などで感染拡大  
→以前と比べ追跡が難しく、注意を要した
- ・天然痘ワクチンが予防に有用

#### ■ 日本での状況

- ・2022/7/25に一例目、以降報告が続いている  
これまでに**318例**の発生（2026/5/8時点）  
※4類感染症として**全数報告**が行われている

#### ■ どんな感染症？

地域	アフリカ→全世界		
感染	感染者の皮膚病変・体液・血液		
潜伏期	1～2週	死亡率	40～50%
症状	発熱・頭痛・リンパ節の腫れなど →発熱1～3日後に特徴的な発疹 自然軽快が多いが、免疫不全者・ 子ども・妊婦は <b>重症化リスク</b> あり		

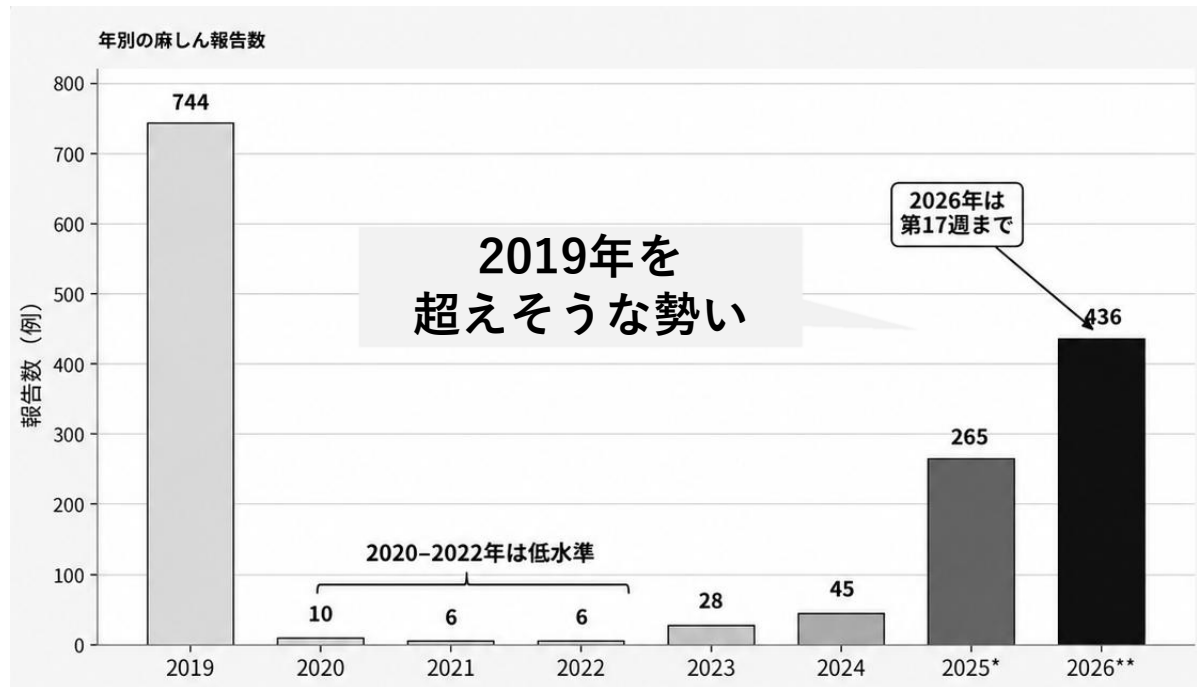
#### ■ 職場での対策

- ・症状があれば受診  
→感染していれば適切な治療・隔離期間を
- ・**通常職場での感染リスクはほぼない**

JHS「[エムポックス](#)」, 厚生労働省「[エムポックス](#)」より作成

### ③麻疹（はしか・麻しん）：現状整理

今最も注意したい感染症！！！！



海外持ち込みだけでなく  
国内感染拡大が増えている

国立感染症研究所 感染症発生動向調査よりChatGPTにて作成

**注意!** 感染力が極めて高い

# 麻しん(はしか)

## 感染拡大しています

**症状** 感染約10日後に発熱や咳などの風邪症状が現れ、2~3日熱が続いた後、**39度以上の高熱と発しん**が出現します。

**感染経路** 空気感染等によりヒトからヒトへの**感染力は非常に強い**です。発症日の1日前から解熱後3日間まで感染力があります。

厚生労働省、「麻疹」より抜粋

### ③麻疹（はしか・麻しん）：感染症の性質

#### ■ 感染経路

- ・ **空気感染する！！！！**  
職場や公共の場での感染が広がりやすい
- ・ **極めて感染力が強い（最強クラス）**  
基本再生産数が12～18と極めて高い
- ・ **免疫がないとほぼ100%発症**  
ワクチン接種歴or既往歴がないとほぼ100%  
大人での初回感染は重症化しやすい
- ・ **発症前から感染性を持つ**  
「気づいたら隔離」で予防できなず  
発症前に拡散させやすい

**感染しやすい&発症しやすい  
&時に重症化する「最悪の感染症」**

#### ■ どんな感染症？

地域	全世界（日本でも流行）		
潜伏期	10日程度	死亡率	0.1%程度
症状	咳・鼻水・目の充血など風邪症状 →2～3日後に発熱＋発疹 肺炎/中耳炎/脳炎を合併することも		

#### ■ 麻疹の「怖さ」

- ・ 脳炎では**後遺症**を残すことがある
- ・ 数年後に**致死的な脳炎**である  
「**亜急性硬化性全脳炎**」を発症することも
- ・ 他疾患も含めた**免疫記憶を破壊**する  
→他感染症にかかりやすくなる

### ③麻疹（はしか・麻しん）：対策

#### ■ ワクチン接種が唯一の対策

- ・適切な接種が済んでいれば感染を予防可能  
※2024年度 MRワクチン接種率は93%未満と  
**集団免疫維持に必要な95%を下回る**
- ・**1990/4/1以前**に産まれた場合、接種回数が不足している可能性→**追加接種**も検討を

#### ■ 特に気をつけるべき人

- ・**妊婦**（&周囲の人）  
重症化しやすく、3～4割が流産・早産
- ・**6ヶ月～1歳未満の子ども**（&周囲の人）  
母体からの移行免疫が切れるが、  
ワクチン定期接種前&重症化しやすい

#### ■ 職場での対策

- ・医療・保育・教育・公共交通機関従事者は  
平時から接種歴などを確認
- ・海外出張・駐在者は渡航前に必ず接種歴確認
- ・不明の場合は**抗体検査**を行う  
→不十分なら**ワクチン接種**を

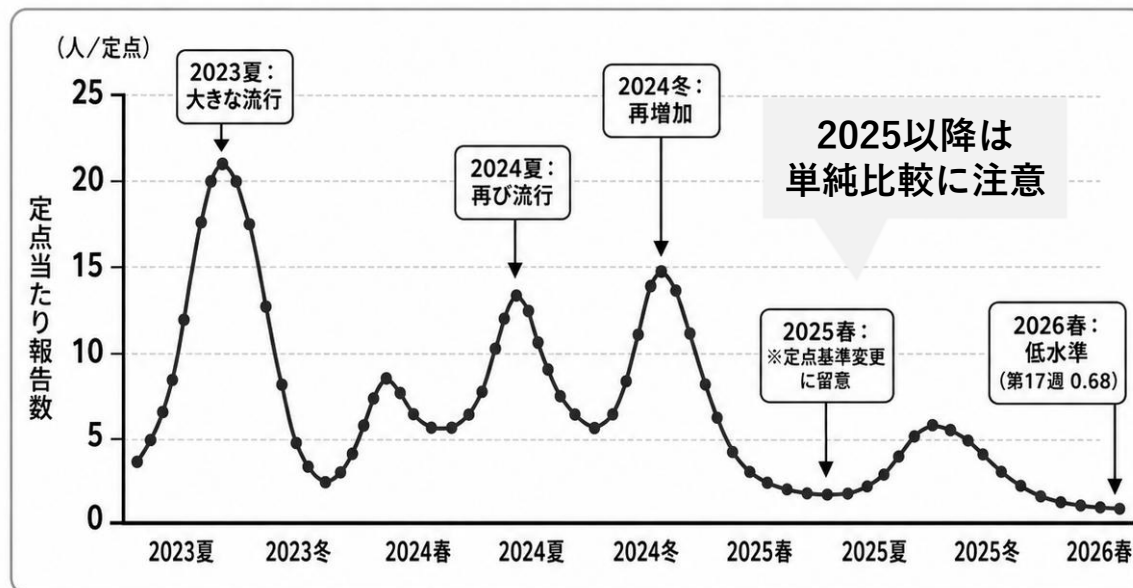
都道府県の麻しん発生情報はチェックを！



**近隣で発生**した場合社員に情報提供し  
**接触疑い**がある場合や**症状**がある場合は  
**家から出ずに保健所に電話**するよう指示  
(絶対に出勤させてはならない)

### ④新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

#### ■ 最近の感染状況



- ・ 2023年以降は夏・冬を中心に流行を反復
- ・ 今後の変異や再流行の可能性はあるが、現時点では特異的な対策が必要な段階ではない

#### ■ 今後の方針

現時点では「特別対応」ではなく、「標準的な体調不良対応」が重要

体調不良時は  
無理に出勤しない

咳エチケット  
人混みはマスク

手洗い・うがい

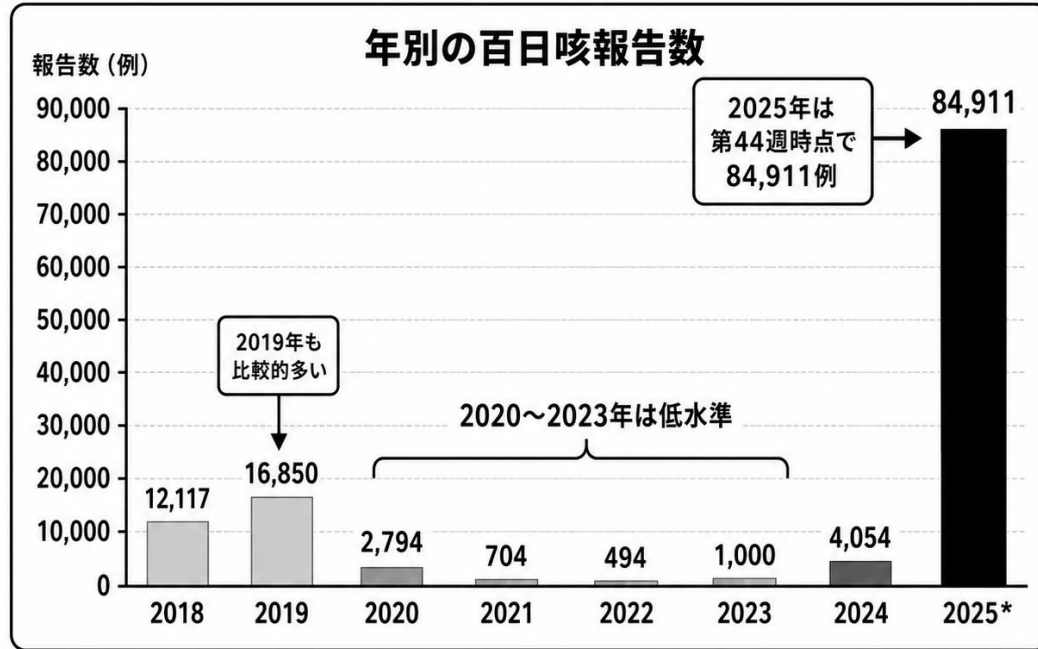
適切な換気

高リスク者への  
配慮

厚生労働省, 「[新型コロナウイルス定点あたり報告数の推移](#)」, 「[新型コロナウイルスの発生状況](#)」よりChatGPTにて作成

### ⑤ 百日咳

#### ■ 最近の感染状況



大人では重症化しにくい  
子ども（特に**低月齢**）は要注意  
**2025年に大流行**をしている

#### ■ どんな感染症？

- ・ **感染経路**  
飛沫や接触感染（通常のカゼと同じ）
- ・ **症状**

<b>カタル期</b> (約2週)	かぜ症状から始まり、 咳が増え・激しくなっていく
<b>痙咳期</b> (2~3週)	発作性・けいれん性の激しい咳 時に無呼吸発作・チアノーゼや けいれんに至ることも（小児）
<b>回復期</b>	徐々に発作が回復 成人は長期に咳が続きやすい

- ・ **対策**  
基本的な感染対策＋小児はワクチン

JHS, 「[百日咳の発生状況について](#)」よりChatGPTにて作成